

葛巻町監査委員告示第4号

地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第30条第2項に基づく令和5年度国民健康保険病院事業会計及び水道事業会計決算について、審査の結果を別紙のとおり公表する。

令和6年8月27日

葛巻町代表監査委員 馬 渕 文 雄

葛巻町監査委員 樋 口 一 男

監 第 40 号  
令和 6 年 8 月 27 日

葛巻町長 鈴木 重 男 殿

葛巻町代表監査委員 馬 渕 文 雄

葛 巻 町 監 査 委 員 樋 口 一 男

令和 5 年度国民健康保険病院事業会計及び水道事業会計決算審査  
意見書の提出について

地方公営企業法（昭和27年 8 月 1 日法律第292号）第30条第 2 項の規定により、審査に付された令和 5 年度国民健康保険病院事業会計及び水道事業会計決算書並びに証書類を審査したので、次のとおり意見書を提出します。

# 令和 5 年度国民健康保険病院事業会計 及び水道事業会計決算審査意見書

地方公営企業法（昭和 27 年 8 月 1 日法律第 292 号）第 30 条第 2 項の規定により、審査に付された令和 5 年度の国民健康保険病院事業会計及び水道事業会計決算書と証書類を審査したので、次のとおり意見を付する。

## 第 1 審査の対象

- ・ 令和 5 年度国民健康保険病院事業会計決算  
（審査書類：決算書、財務諸表、決算附属書類）
- ・ 令和 5 年度水道事業会計決算  
（審査書類：決算書、財務諸表、決算附属書類）

## 第 2 審査の期間

令和 6 年 7 月 22 日から 8 月 20 日まで

## 第 3 審査の方法

審査に当たっては、町長から提出された決算書及び財務諸表等が関係法令等に準拠して作成されているか確かめ、各事業の経営成績及び財政状態が適正に表示されているか、また、計数に誤りがないか諸帳簿と照合し、不明な点は担当者の説明を求めて審査した。

## 第 4 審査の結果

審査に付された 2 事業の決算書及び決算附属書類は、関係法令の諸規定に準拠して作成されており、会計帳簿、証書類等と照合点検したところ、計数については正確であり、令和 5 年度の経営成績及び財政状態を概ね適正に表示しているものと認められた。

以下、審査の結果は次の会計別に述べるとおりである。

### 凡 例

- 1 文中及び表中に用いる比率は、原則として小数点以下第 2 位を四捨五入した。したがって、構成比等において合計と内訳の合計比率が一致しない場合がある。
- 2 各表中の符号の用法は、次のとおりである。
  - “0.0”・・・比率において、該当数値はあるが単位未満のもの
  - “△”・・・マイナス（－）、減少、低下
  - “－”・・・該当数値なし

# 国民健康保険病院事業会計

## 1 経営の成績及び予算の執行状況

### (1) 患者数の動向について

令和5年度の患者数は次表のとおりである。

| 患者数 | 5年度    | 4年度    | 増 減    |       | 1日平均患者数 |       | 増 減  |
|-----|--------|--------|--------|-------|---------|-------|------|
|     |        |        | 人 数    | 率     | 5年度     | 4年度   |      |
| 入院  | 11,544 | 12,298 | △754   | △6.1  | 31.5    | 33.7  | △2.2 |
| 一般  | 2,334  | 3,021  | △687   | △22.7 | 6.4     | 8.3   | △1.9 |
| 包括  | 8,014  | 7,625  | 389    | 5.1   | 21.9    | 20.9  | 1.0  |
| 療養型 | 1,196  | 1,652  | △456   | △27.6 | 3.3     | 4.5   | △1.2 |
| 外来  | 27,197 | 27,982 | △785   | △2.8  | 111.9   | 116.1 | △4.2 |
| 合計  | 38,741 | 40,280 | △1,539 | △3.8  | 143.4   | 149.8 | △6.4 |

(単位：人、%)

■ 入院患者数は、前年度比754人(6.1%)、外来患者数は、前年度比785人(2.8%)減少している。

### (2) 収益的収入及び支出について

#### (ア) 収益的収支の状況

収益的収入及び支出の状況は次表のとおりである。

| 区 分               |       | 5年度<br>予算額 (A) | 5年度<br>決算額 (B) | 比較増減<br>(B) - (A) | 執行率   | 4年度決算額<br>【参考】 |
|-------------------|-------|----------------|----------------|-------------------|-------|----------------|
| 収 入               | 医業収益  | 715,631,000    | 667,006,208    | △48,624,792       | 93.2  | 697,188,666    |
|                   | 医業外収益 | 300,406,000    | 316,453,317    | 16,047,317        | 105.3 | 321,732,947    |
|                   | 特別利益  | 75,002,000     | 94,704,888     | 19,702,888        | 126.3 | 80,267,273     |
| 収入合計①<br>(病院事業収益) |       | 1,091,039,000  | 1,078,164,413  | △12,874,587       | 98.8  | 1,099,188,886  |
| 支 出               | 医業費用  | 1,178,442,000  | 1,066,846,204  | △111,595,796      | 90.5  | 1,061,321,469  |
|                   | 医業外費用 | 12,273,000     | 18,662,907     | 6,389,907         | 152.1 | 20,175,792     |
|                   | 特別損失  | 3,000          | 2,837,871      | 2,834,871         | ※     | 2,106,074      |
| 支出合計②<br>(病院事業費用) |       | 1,190,718,000  | 1,088,346,982  | △102,371,018      | 91.4  | 1,083,603,335  |
| 差引額①－②            |       |                | △10,182,569    |                   |       | 15,585,551     |

※9,4595.7

(単位：円、%、税込)

■ 5年度予算の執行状況は、収入については、予算額1,091,039,000円に対し、決算額1,078,164,413円で執行率(98.8%)、前年度比21,024,473円(1.9%)の減となった。

医業収益は、予算額715,631,000円に対し、決算額667,006,208円で執行率93.2%となり、前年度比30,182,458円(4.3%)の減となった。主な要因は、患者数が減少したことと、新型コロナウイルス感染症ワクチン接種事業の減によるものである。

医業外収益は、予算額300,406,000円に対し、決算額316,453,317円で、前年度比

5,279,630 円 (1.6%)の減となった。主な要因は、長期前受金戻入及び一般会計補助金の減によるものである。

支出については、予算額 1,190,718,000 円に対し、決算額 1,088,346,982 円で執行率 91.4%となり、前年度比 4,743,647 円 (0.4%)の増となった。

医業費用は、予算額 1,178,442,000 円に対し、決算額 1,066,846,204 円で執行率 90.5%となり、前年度比 5,524,735 円 (0.5%)の増となった。

医業外費用は、予算額 12,273,000 円に対し、決算額 18,662,907 円で執行率 152.1%となり、前年度比 1,512,885 円 (7.4%)の減となった。主な要因は、消費税納付額等の減によるものである。

(イ) 特別利益の状況

決算額 94,704,888 円となり、前年度比 14,437,615 円 (18.0%)の増となり、主な要因は、戻入益等の増である。

(ロ) 特別損失の状況

決算額 2,837,871 円となり、前年度 731,797 円 (34.7%)の増となり、主な要因は過年度損益修正損の増である。

(3) 未処理欠損金の状況について

未処理欠損金などの状況は次表のとおりである。

| 項 目                        | 5 年度          | 4 年度          | 3 年度【参考】      |
|----------------------------|---------------|---------------|---------------|
| 事業収益                       | 977,891,544   | 1,011,747,014 | 969,575,930   |
| 特別利益                       | 94,704,888    | 80,172,196    | 76,176,978    |
| 総収益 (A)                    | 1,072,596,432 | 1,091,919,210 | 1,045,752,908 |
| 事業費用                       | 1,082,254,526 | 1,076,435,962 | 1,078,085,844 |
| 特別損失                       | 2,837,871     | 2,106,074     | 982,429       |
| 総費用 (B)                    | 1,085,092,397 | 1,078,542,036 | 1,079,068,273 |
| 当年度純利益 (△ 純損失)<br>(C(A-B)) | △ 12,495,965  | 13,377,174    | △ 33,315,365  |
| 前年度繰越欠損金 (D)               | 646,642,827   | 660,020,001   | 626,704,636   |
| 当年度未処理欠損金(D)-(C)           | 659,138,792   | 646,642,827   | 660,020,001   |

(単位：円、税抜)

- 4 年度末の未処理欠損金は 646,642,827 円で、5 年度純損失 12,495,965 円を加え、5 年度末の未処理欠損金は 659,138,792 円となった。

(4) 繰入状況について

一般会計からの負担金、補助金及び出資金の繰入状況は次表のとおりである。

| 項 目     | 5 年度        | 4 年度        | 比 較         | 3 年度【参考】    |
|---------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 一般会計負担金 | 273,447,000 | 288,648,000 | △15,201,000 | 249,429,000 |
| 医業収益    | 39,688,000  | 39,688,000  | -           | 39,688,000  |
| 医業外収益   | 178,501,000 | 177,853,000 | 648,000     | 171,331,000 |
| 資本的収入   | 55,258,000  | 71,107,000  | △15,849,000 | 38,410,000  |
| 一般会計補助金 | 121,253,000 | 123,622,000 | △2,369,000  | 123,926,000 |
| 医業外収益   | 46,253,000  | 48,622,000  | △2,369,000  | 48,926,000  |
| 特別利益    | 75,000,000  | 75,000,000  | -           | 75,000,000  |
| 一般会計出資金 | -           | -           | -           | -           |
| 合 計     | 394,700,000 | 412,270,000 | △17,570,000 | 373,355,000 |

(単位：円、税抜)

- 前年度との比較では、全体で17,570,000円(4.3%)の減となった。主な要因は、企業債償還元金の減少に伴い、一般会計からの繰入額が減少したことによるものである。

(5) 資本的収入及び支出について

資本的収入及び支出の状況は次表のとおりである。

| 項 目 | 5 年度決算額 (A) | 4 年度決算額 (B) | 増 減 (A) - (B) |
|-----|-------------|-------------|---------------|
| 収 入 | 82,096,000  | 119,737,000 | △37,641,000   |
| 支 出 | 139,584,664 | 190,503,669 | △50,919,005   |
| 差 引 | △57,488,664 | △70,766,669 |               |

(単位：円、税込)

## 2 財政状態

(1) 資産について

資産の状況は次表のとおりである。

| 項 目          | 5 年度          | 4 年度          | 比較           |
|--------------|---------------|---------------|--------------|
| ① 固定資産       | 2,454,943,447 | 2,579,877,233 | △124,933,786 |
| 有形固定資産       | 2,454,943,447 | 2,579,877,233 | △124,933,786 |
| 土地           | 206,143,881   | 206,143,881   | -            |
| 建物構築物        | 2,130,497,573 | 2,238,369,196 | △107,871,623 |
| 器械及び備品       | 118,221,406   | 135,283,569   | △17,062,163  |
| 車両           | 80,587        | 80,587        | -            |
| その他          | -             | -             | -            |
| ② 流動資産       | 889,735,317   | 897,828,597   | △8,093,280   |
| 現金及び預金       | 786,159,336   | 774,785,476   | 11,373,860   |
| 未収金          | 103,867,198   | 121,424,422   | △17,557,224  |
| 貸倒引当金        | △10,131,179   | △10,131,179   | -            |
| 貯蔵品          | 9,839,962     | 11,749,878    | △1,909,916   |
| 資産合計 (① + ②) | 3,344,678,764 | 3,477,705,830 | △133,027,066 |

(単位：円、税抜)

- 資産合計は 3,344,678,674 円で、前年度比 133,027,066 円 (3.8%) の減となった。有形固定資産の減は、建物構築物が 107,871,623 円 (4.8%) の減、器械及び備品が 17,062,163 円 (12.6%) の減によるものであり、これらは主に、減価償却等によるものである。流動資産の減は、主に未収金（新型コロナウイルス感染症関連事業費補助金等）17,557,224 円 (14.5%) の減によるものである。

(2) 資本について

資本は 349,467,567 円で、前年度比 12,495,965 円 (3.5%) の減となった。主な要因は、未処理欠損金の増によるものである。

(3) 負債について

負債の状況は次表のとおりである。

| 項 目          | 5 年度          | 4 年度          | 3 年度          |
|--------------|---------------|---------------|---------------|
| ① 固定負債       | 2,500,627,209 | 2,600,040,138 | 2,677,469,789 |
| 企業債          | 2,247,565,450 | 2,346,978,379 | 2,413,517,650 |
| 退職手当引当金      | 253,061,759   | 253,061,759   | 263,952,139   |
| ② 流動負債       | 212,128,945   | 196,940,696   | 233,952,376   |
| 企業債          | 124,091,711   | 110,515,826   | 142,213,224   |
| 一時借入金        | -             | -             | -             |
| 未払金          | 67,698,045    | 67,598,618    | 68,285,533    |
| 消費税          | 909,400       | 1,093,200     | 3,064,600     |
| 預かり金         | 974,992       | 859,538       | 612,440       |
| 賞与引当金        | 18,454,797    | 16,873,514    | 19,776,579    |
| ③ 繰延収益       | 282,455,043   | 318,761,464   | 325,230,391   |
| 長期前受金        | 1,152,090,187 | 1,114,295,151 | 1,038,788,151 |
| 長期前受金収益化累計額  | △ 869,635,144 | △ 795,533,687 | △ 713,557,760 |
| 負債合計 (①+②+③) | 2,995,211,197 | 3,115,742,298 | 3,236,652,556 |

(単位：円、税抜)

- 負債合計は 2,995,211,197 円で、前年度比 120,531,101 円 (3.9%) の減となった。主な要因は、企業債の償還による借入残高の減によるものである。

(4) 不良債務について

流動資産合計額から流動負債合計額を差し引いた金額が、マイナスの場合は不良債務という。

| 区 分         | 5 年度    | 4 年度    | 3 年度    |
|-------------|---------|---------|---------|
| 流動資産合計額(A)  | 889,735 | 897,828 | 878,850 |
| 流動負債合計額(B)  | 212,128 | 196,940 | 233,952 |
| 差 引 (A)-(B) | 677,607 | 700,888 | 644,898 |
| 医業収益        | 661,634 | 690,372 | 691,853 |
| 不良債務比率      | -       | -       | -       |

(単位：千円、税抜)

- 流動資産合計額が流動負債合計額を上回っており、不良債務は発生していない。

(5) 未収金について

個人未収金の状況は、次表のとおりである。

| 区 分         | 5 年 度      | 4 年 度      | 3 年 度      |
|-------------|------------|------------|------------|
| 医 業 未 収 金   | 13,398,917 | 13,984,549 | 13,283,383 |
| 現 年 度       | 1,963,586  | 2,571,378  | 1,933,178  |
| 過 年 度       | 11,435,331 | 11,413,171 | 11,350,205 |
| 医 業 外 未 収 金 | -          | -          | -          |
| 合 計         | 13,398,917 | 13,984,549 | 13,283,383 |

(単位：円)

- 未収金合計は、前年度対比で 585,632 円 (4.2%) 減少した。医業未収金のうち過年度の未収金は、前年度対比で 22,160 円 (0.2%) 増加し、現年度の未収金は、607,792 円 (23.6%) 減少した。

### 3 資金状況

5 年度のキャッシュ・フローの状況は、次表のとおりである。

業務活動によるキャッシュ・フローは、病院本来の業務活動の実施に必要な資金の状態を表すもので、投資活動と財務活動以外の取引によるものを表している。

投資活動によるキャッシュ・フローは、将来に向けた運営基盤の確立のために行う投資活動に係る資金の状態を表している。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入、返済による収入、支出などの、資金調達及び返済による資金の状態を表している。



キャッシュ・フロー計算書

| 区 分                        |  | 5 年度          | 4 年度          | 比較           |
|----------------------------|--|---------------|---------------|--------------|
| 1 業務活動によるキャッシュ・フロー         |  |               |               |              |
| 当期純損失                      |  | △ 12,495,965  | 13,377,174    | △ 25,873,139 |
| 減価償却費                      |  | 149,430,277   | 168,478,197   | △ 19,047,920 |
| 引当金の増減額（△は減少）              |  | 1,581,283     | △ 13,793,445  | 15,374,728   |
| 長期前受金戻入額                   |  | △ 93,802,421  | △ 81,975,927  | △ 11,826,494 |
| 受取利息及び受取配当金                |  | △ 134         | △ 129         | △ 5          |
| 支払利息                       |  | 7,838,412     | 7,947,335     | △ 108,923    |
| 有形固定資産除却損等                 |  | 2,001,345     | 2,002,800     | △ 1,455      |
| 営業活動による資産及び負債の増減           |  | -             | -             | -            |
| 未収金の増減額（△は増加）              |  | 17,557,224    | △ 9,634,539   | 27,191,763   |
| たな卸資産の増減額                  |  | 1,909,916     | 471,410       | 1,438,506    |
| 前払金の増減額（△は増加）              |  | -             | -             | -            |
| 未払金（未払債務）の増減額（△は減少）        |  | △ 84,373      | △ 2,658,315   | 2,573,942    |
| その他の流動負債の増減額（△は減少）         |  | 115,454       | 247,098       | △ 131,644    |
| その他（営業活動以外の物）              |  | -             | -             | -            |
| 固定資産の売却                    |  | -             | △ 300,000     | 300,000      |
| 小計                         |  | 74,051,018    | 84,161,659    | △ 10,110,641 |
| 利息及び配当金の受取額                |  | 134           | 129           | 5            |
| 利息の支払額                     |  | △ 7,838,412   | △ 7,947,335   | 108,923      |
| その他                        |  | -             | -             | -            |
| 業務活動によるキャッシュ・フロー           |  | 66,212,740    | 76,214,453    | △ 10,001,713 |
| 2 投資活動によるキャッシュ・フロー         |  |               |               |              |
| 有形固定資産の取得による支出             |  | △ 26,497,836  | △ 43,970,000  | 17,472,164   |
| 有形固定資産の売却による収入             |  | -             | 300,000       | △ 300,000    |
| 一般会計又は他の特別会計からの繰入金による収入    |  | 55,258,000    | 71,107,000    | △ 15,849,000 |
| 国庫補助金による収入                 |  | 2,238,000     | 4,400,000     | △ 2,162,000  |
| その他                        |  | -             | -             | -            |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー           |  | 30,998,164    | 31,837,000    | △ 838,836    |
| 3 財務活動によるキャッシュ・フロー         |  |               |               |              |
| 一時借入金の返済による支出              |  | -             | -             | -            |
| 建設改良等の財源に充てるための企業債による収入    |  | 24,600,000    | 43,900,000    | △ 19,300,000 |
| 建設改良等の財源に充てるための企業債の償還による収出 |  | △ 110,437,044 | △ 142,136,669 | 31,699,625   |
| 企業債取扱諸費の支払い                |  | -             | -             | -            |
| 建設改良等の財源に充てるための長期借入金による収入  |  | -             | -             | -            |
| 他会計からの出資による収入              |  | -             | -             | -            |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー           |  | △ 85,837,044  | △ 98,236,669  | 12,399,625   |
| 資金増加額                      |  | 11,373,860    | 9,814,784     | 1,559,076    |
| 資金期首残高                     |  | 774,785,476   | 764,970,692   | 9,814,784    |
| 資金期末残高                     |  | 786,159,336   | 774,785,476   | 11,373,860   |

（単位：円、税抜）

#### 4 総括

5年度決算は、12,495,965円の赤字決算となり、この結果、繰越欠損金が増加し、当年度未処理欠損金は659,138,792円となった。この大きな要因としては、患者数減少による入院収益及び外来収益併せて8,539,588円の減少と、新型コロナウイルス予防接種事業による収益の14,579,577円減少によるものである。

物価の価格高騰や医業収益の減少により経営を圧迫する状況にありながら、全職員での経費節減に向けた取り組みや、地域連携室を中心とした入退院調整や院内での病床調整会議による入院単価引き上げへの取り組みなど、評価するものである。

また、未収金については、個人未収金が前年度に比較し585,632円減少しており、収入の確保に向けての取り組みを評価するものである。今後も収入の確保と負担の公平性の観点からも、未納者の状況に応じ継続した納付指導など、早期解消に努められたい。

5年度は、常勤医師と非常勤医師併せて5人から6人、4月からは在宅支援病院として24時間往診体制を整備するなど、地域住民が安心して診療が受けられる医療体制の充実が図られた。

病床については、介護保険法の一部改正に伴い、5年度末をもって利用率の低かった介護療養型病床が廃止され一般病床となった。今後は利用率の高い地域包括ケア病床の増床なども検討しながら、持続可能な地域医療提供体制を確保するため策定された「国民健康保険葛巻病院経営強化プラン」に基づき、一層の経営改善を望むものである。

## 水道事業会計

### 1 経営の成績及び予算の執行状況

#### (1) 事業の状況について

令和5年度の業務状況は次表のとおりである。

| 項目 \ 区分      | 5年度<br>(A)  | 4年度<br>(B)  | 比較増減<br>(C) =<br>(A) - (B) | 増減率<br>(C)/(B)<br>% |
|--------------|-------------|-------------|----------------------------|---------------------|
| 行政区域内人口 (人)  | 5,356       | 5,538       | △182                       | △3.3                |
| 年度末給水人口 (人)  | 5,055       | 5,226       | △171                       | △3.2                |
| 普及率 (%)      | 94.4        | 94.4        | -                          | -                   |
| 年間総配水量 (m³)  | 1,006,782   | 908,441     | 98,341                     | 10.8                |
| 年間総有収水量 (m³) | 529,787     | 539,323     | △9,536                     | △1.8                |
| 年間有収率 (%)    | 52.6        | 59.4        | △6.8                       | △11.4               |
| 年間料金収入 (円)   | 115,720,767 | 117,647,287 | △1,926,520                 | △1.6                |
| 給水原価 ※税抜 (円) | 276         | 265         | 11                         | 4.2                 |
| 供給単価 ※税抜 (円) | 199         | 199         | -                          | -                   |

- 5年度末における給水人口は5,356人で、前年度と比較すると、182人(3.3%)減少している。給水区域内人口に対する普及率は94.4%で前年度と同率であった。年間総配水量は1,006,782立方メートルで、前年度と比較すると、98,341立方メートル(10.8%)増加している。

配水量に対する有収水量の割合を示す有収率は52.6%で、前年度より6.8ポイント減少している。

年間料金収入は115,720,767円で、前年度と比較すると1,926,520円(1.6%)減少している。

#### (2) 収益的収入及び支出について

##### (ア) 収益的収支の状況

収益的収入及び支出の状況は次表のとおりである。

| 区 分               |       | 5年度<br>予算額 (A) | 5年度<br>決算額 (B) | 比較増減<br>(B) - (A) | 執行率   |
|-------------------|-------|----------------|----------------|-------------------|-------|
| 収 入               | 営業収益  | 118,648,000    | 117,689,767    | △958,233          | 99.2  |
|                   | 営業外収益 | 44,694,000     | 44,998,324     | 304,324           | 100.7 |
|                   | 特別利益  | 3,000          | -              | △3,000            | -     |
| 収入合計①<br>(水道事業収益) |       | 163,345,000    | 162,688,091    | △656,909          | 99.6  |
| 支 出               | 営業費用  | 185,655,000    | 176,191,360    | △9,463,640        | 94.9  |
|                   | 営業外費用 | 14,904,000     | 15,876,422     | 972,422           | 106.5 |
|                   | 特別損失  | 3,000          | -              | △3,000            | -     |
| 支出合計②<br>(水道事業費用) |       | 200,562,000    | 192,067,782    | △8,494,218        | 95.8  |
| 差引額①-②            |       |                | △29,379,691    |                   |       |

(単位：円、%、税込)

- 5年度予算の執行状況は、収入については、予算額 163,345,000 円に対し、決算額 162,688,091 円となった。

営業収益は、予算額 118,648,000 円に対し、決算額 117,689,767 円となり、営業外収益は、予算額 44,694,000 円に対し、決算額 44,998,324 円となった。

支出については、予算額 200,562,000 円に対し、決算額 192,067,782 円で執行率 95.8%となった。

営業費用は、予算額 185,655,000 円に対し、決算額 176,191,360 円で執行率 94.9%となり、営業外費用は、予算額 14,904,000 円に対し、決算額 15,876,422 円で執行率 106.5%となった。

(1) 特別利益の状況

減価償却費の精査による過年度損益修正益などの特別利益はなかった。

(3) 未処理欠損金の状況について

未処理欠損金などの状況は次表のとおりである。

| 項 目                  | 5 年度         | 4 年度         | 比 較         |
|----------------------|--------------|--------------|-------------|
| 事業収益                 | 152,095,928  | 154,563,039  | △ 2,467,111 |
| 特別利益                 | -            | -            | -           |
| 総収益 (A)              | 152,095,928  | 154,563,039  | △ 2,467,111 |
| 事業費用                 | 183,812,181  | 179,869,806  | 3,942,375   |
| 特別損失                 | -            | -            | -           |
| 総費用 (B)              | 183,812,181  | 179,869,806  | 3,942,375   |
| 当年度純利益(△純損失)(C(A-B)) | △ 31,716,253 | △ 25,306,767 | △ 6,409,486 |
| 前年度繰越欠損金(D)          | 191,438,181  | 166,131,414  | 25,306,767  |
| 当年度未処理欠損金(D)-(C)     | 223,154,434  | 191,438,181  | 31,716,253  |

(単位:円、税抜)

- 4年度末の未処理欠損金は 191,438,181 円で、5年度純損失 31,716,253 円を加え、5年度末の未処理欠損金は 223,154,434 円となった。

(4) 繰入状況について

一般会計からの補助金及び出資金の繰入状況は次表のとおりである。

| 項 目    | 5 年度       | 4 年度       | 比 較       |
|--------|------------|------------|-----------|
| 他会計補助金 | 6,988,643  | 7,561,984  | △ 573,341 |
| 出 資 金  | 66,313,513 | 62,729,634 | 3,583,879 |
| 合 計    | 73,302,156 | 70,291,618 | 3,010,538 |

(単位:円、税抜)

- 前年度との比較では、全体で 3,010,538 円(4.3%)の増となった。主な要因は、企業債償還金の増額に充てるための財源として、一般会計からの繰入額が増加したものである。

(5) 資本的収入及び支出について

資本的収入及び支出の状況は次表のとおりである。

| 項 目 | 5 年度決算額 (A)  | 4 年度決算額 (B)  | 増減 (A) - (B) |
|-----|--------------|--------------|--------------|
| 収 入 | 87,026,513   | 75,029,634   | 11,996,879   |
| 支 出 | 148,949,657  | 141,034,632  | 7,915,025    |
| 差 引 | △ 61,923,144 | △ 66,004,998 |              |

(単位：円、税込)

- 資本収入額が資本的支出額に対し不足する額 61,923,144 円は、過年度分損益勘定留保資金で補てんしている。

## 2 財政状態

(1) 資産について

資産の状況は次表のとおりである。

| 項 目            | 5 年度          | 4 年度          | 比較            |
|----------------|---------------|---------------|---------------|
| ① 固定資産 (ア + イ) | 2,624,190,460 | 2,696,586,633 | △ 72,396,173  |
| ア 有形固定資産       | 2,622,635,260 | 2,695,031,433 | △ 72,396,173  |
| 土地             | 47,216,571    | 47,216,571    | -             |
| 建物             | 89,755,965    | 93,165,641    | △ 3,409,676   |
| 構築物            | 2,268,133,435 | 2,349,397,813 | △ 81,264,378  |
| 機械及び装置         | 160,319,658   | 170,000,810   | △ 9,681,152   |
| 車両運搬具          | 2,029,629     | 2,360,596     | △ 330,967     |
| 工具器具及び備品       | 450,000       | -             | 450,000       |
| 建物仮勘定          | 54,730,002    | 32,890,002    | 21,840,000    |
| イ 無形固定資産       | 1,555,200     | 1,555,200     | -             |
| 電話加入権          | 1,555,200     | 1,555,200     | -             |
| ② 流動資産         | 126,251,086   | 159,677,382   | △ 33,426,296  |
| 現金及び預金         | 125,568,811   | 159,049,183   | △ 33,480,372  |
| 未収金            | 549,415       | 456,199       | 93,216        |
| 貯蔵品            | 132,860       | 172,000       | △ 39,140      |
| 資産合計 (① + ②)   | 2,750,441,546 | 2,856,264,015 | △ 105,822,469 |

(単位：円、税抜)

- 資産合計は 2,750,441,546 円で、前年度との比較では 105,822,469 円 (3.7%) の減となった。有形固定資産の減少は、構築物が 81,264,378 円の減などによるものであり、これらは主に、減価償却によるものである。

流動資産の合計は、126,251,086 円で、前年度との比較では 33,426,296 円 (20.9%) の減となった。主に現金及び預金の減によるものである。

(2) 資本について

資本の合計は、538,335,091 円となった。

(3) 負債について

負債の状況は次表のとおりである。

| 項 目          | 5 年度             | 4 年度             | 比 較             |
|--------------|------------------|------------------|-----------------|
| ① 固定負債 (A)   | 1, 174, 394, 223 | 1, 277, 366, 717 | △ 102, 972, 494 |
| 企業債          | 1, 174, 394, 223 | 1, 277, 366, 717 | △ 102, 972, 494 |
| ② 流動負債 (B)   | 120, 899, 198    | 128, 540, 493    | △ 7, 641, 295   |
| 企業債          | 116, 948, 000    | 116, 207, 000    | 741, 000        |
| 未払金          | 3, 283, 083      | 11, 707, 378     | △ 8, 424, 295   |
| 前受金          | 6, 115           | 6, 115           | -               |
| 引当金          | 662, 000         | 620, 000         | 42, 000         |
| ③ 繰延収益 (C)   | 916, 813, 034    | 946, 618, 974    | △ 29, 805, 940  |
| 長期前受金        | 1, 162, 149, 697 | 1, 155, 236, 697 | 6, 913, 000     |
| 長期前受金収益化累計額  | △ 245, 336, 663  | △ 208, 617, 723  | △ 36, 718, 940  |
| 負債合計 (A+B+C) | 2, 212, 106, 455 | 2, 352, 526, 184 | △ 140, 419, 729 |

(単位：円、税抜)

- 負債合計は 2,212,106,455 円で、前年度比 140,419,729 円(6.0%)の減となった。  
 主な要因は、企業債の償還による借入残高の減によるものである。

(4) 不良債務について

流動資産合計額から流動負債合計額を差し引いた金額がマイナスの場合は、不良債務という。

| 区 分         | 5 年度          | 4 年度          | 比 較            |
|-------------|---------------|---------------|----------------|
| 流動資産合計額 (A) | 126, 251, 086 | 159, 677, 382 | △ 33, 426, 296 |
| 流動負債合計額 (B) | 120, 899, 198 | 128, 540, 493 | △ 7, 641, 295  |
| 差引 (A)-(B)  | 5, 351, 888   | 31, 136, 889  | △ 25, 785, 001 |
| 営業収益        | 107, 135, 125 | 109, 539, 096 | △ 2, 403, 971  |
| 不良債務比率      | -             | -             | -              |

(単位：円、税抜)

- 流動資産合計額が流動負債合計額を上回っており、不良債務は発生していない。

(5) 未収金について

個人未収金の状況は、次表のとおりである。

| 区 分    | 5 年度     | 4 年度     | 3 年度     |
|--------|----------|----------|----------|
| 営業未収金  | 549, 415 | 456, 199 | 565, 016 |
| 現年度    | 549, 415 | 456, 199 | 565, 016 |
| 過年度    | -        | -        | -        |
| 営業外未収金 | -        | -        | -        |
| 合 計    | 549, 415 | 456, 199 | 565, 016 |

(単位：円)

- 営業未収金 549,415 円で、前年度比 93,216 円 (20.4%) 増加した。

### 3 資金状況

5年度のキャッシュ・フローの状況は、次表のとおりである。

業務活動によるキャッシュ・フローは、水道事業の業務活動の実施に必要な資金の状態を表すもので、投資活動と財務活動以外の取引によるものを表している。

投資活動によるキャッシュ・フローは、将来に向けた運営基盤の確立のために行う投資活動に係る資金の状態を表している。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入、返済による収入、支出などの、資金調達及び返済による資金の状態を表している。

キャッシュ・フロー計算書

| 区 分                        |  | 5 年 度         | 4 年 度         | 比 較          |
|----------------------------|--|---------------|---------------|--------------|
| 1 業務活動によるキャッシュ・フロー         |  |               |               |              |
| 当期純利益                      |  | △ 31,716,253  | △ 25,306,767  | △ 6,409,486  |
| 減価償却費                      |  | 102,360,916   | 101,313,919   | 1,046,997    |
| 引当金の増減額（△は減少）              |  | 42,000        | 34,240        | 7,760        |
| 長期前受金戻入額                   |  | △ 36,718,940  | △ 36,787,436  | 68,496       |
| 受取利息及び受取配当金                |  | △ 1,407       | △ 1,572       | 165          |
| 支払利息                       |  | 11,732,322    | 12,904,975    | △ 1,172,653  |
| 有形固定資産除却損等                 |  | -             | 141,311       | △ 141,311    |
| 営業活動による資産及び負債の増減           |  | -             | -             | -            |
| 未収金の増減額（△は増加）              |  | △ 93,216      | 1,325,217     | △ 1,418,433  |
| たな卸資産の増減額                  |  | 39,140        | △ 110,480     | 149,620      |
| 前払金の増減額（△は増加）              |  | -             | -             | -            |
| 未払金（未払債務）の増減額（△は減少）        |  | △ 8,424,295   | 10,227,054    | △ 18,651,349 |
| その他の流動負債の増減額（△は減少）         |  | -             | △ 8,509       | 8,506        |
| その他（営業活動以外の物）              |  | -             | -             | -            |
| 固定資産の売却                    |  | -             | -             | -            |
| 小計                         |  | 37,220,267    | 63,731,952    | △ 26,511,685 |
| 利息及び配当金の受取額                |  | 1,407         | 1,572         | △ 165        |
| 利息の支払額                     |  | △ 11,732,322  | △ 12,904,975  | 1,172,653    |
| その他                        |  | -             | -             | -            |
| 業務活動によるキャッシュ・フロー           |  | 25,489,352    | 50,828,549    | △ 25,339,197 |
| 2 投資活動によるキャッシュ・フロー         |  |               |               |              |
| 有形固定資産の取得による支出             |  | △ 29,964,743  | △ 27,987,181  | △ 1,977,562  |
| 有形固定資産の売却による収入             |  | -             | -             | -            |
| 一般会計又は他の特別会計からの繰入金による収入    |  | -             | -             | -            |
| 国庫補助金による収入                 |  | 6,913,000     | -             | 6,913,000    |
| その他                        |  | -             | -             | -            |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー           |  | △ 23,051,743  | △ 27,987,181  | 4,935,438    |
| 3 財務活動によるキャッシュ・フロー         |  |               |               |              |
| 一時借入金の返済による支出              |  | -             | -             | -            |
| 建設改良等の財源に充てるための企業債による収入    |  | 13,800,000    | 12,300,000    | 1,500,000    |
| 建設改良等の財源に充てるための企業債の償還による支出 |  | △ 116,031,494 | △ 110,131,732 | △ 5,899,762  |
| 企業債取扱諸費の支払い                |  | -             | -             | -            |
| 建設改良等の財源に充てるための長期借入金による収入  |  | -             | -             | -            |
| 他会計からの出資による収入              |  | 66,313,513    | 62,729,634    | 3,583,879    |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー           |  | △ 35,917,981  | △ 35,102,098  | △ 815,883    |
| 資金増加額                      |  | △ 33,480,372  | △ 12,260,730  | △ 21,219,642 |
| 資金期首残高                     |  | 159,049,183   | 171,309,913   | △ 12,260,730 |
| 資金期末残高                     |  | 125,568,811   | 159,049,183   | △ 33,480,372 |

（単位：円、税抜）



#### 4 総括

5年度の決算は、損益勘定において31,716,253円の純損失が生じており、この結果、繰越欠損金が増加し、当年度未処理欠損金は223,154,434円となった。前年度と同様、資産の減価償却費が102,360,916円と多額であったことが大きな要因である。営業費用172,079,859円のうち、減価償却費が59.5%を占めている。また、人口減少に伴う料金収入の減少も要因の一つとなっている。

日常業務では、老朽化した施設を適正に管理し、最小限の経費での維持管理に努めている。

今後も、純損失は、料金収入の減少や資産の減価償却費などにより、3,000万円以上で推移していくことが予想され、施設整備を推進する際に一層の資金計画が重要となる。

併せて、事業の効率性を高めるため、計画的な更新工事と適切な維持工事、漏水調査の実施や災害防止策などにも努められたい。

なお、給水収益は水道経営の根幹であり、水道事業の健全な運営を図るためにも、「葛巻町水道事業経営戦略」に基づいた取り組みを重点的に実施することが望まれる。